

2  
月  
号

第349号

# いっしん

平成26年(2014年)

わが道の  
本と末とが  
ひとつにて  
ともに栄行く  
天地の道

甘木親教会  
初代親先生み歌

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市  
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-622895 /FAX 020-4665-5653  
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/

この二月九日、矢野政美大人の十五年祭を迎えます。政美大人は、戦後の傷跡残る加治木の町に昭和二十六年に布教されました。寒風吹きすさぶような時代です。



桜の花の信心より、梅の花の信心をせよ。  
桜の花は早う散る。梅の花は  
苦勞しておるから長う散らぬ。  
金光教祖御理解

一月十一日～二月七日

## 寒中一斉信行

ご本部では、毎年一月に 期間を定めての全教勢をそろえた取り組み」として「信行期間」が設けられ「朝の教話」が行われております。そのため、全教的に多くの教会では「寒中一斉信行期間」を設けて信行に取り組まれています。加治木教会では、一月十一日から二月七日の間を信行期間として取り組まさせていただきます。

信心の勉強会は、午前五時半の御祈念後と、午前十時の御祈念後です。参拝者は多くても四・五人、それより少ないときがほとんどですが、どうかここから真の道を元気な心で伝え広げて行かねばなりません！

☆

最初の十日ほどは、安武松太郎 教話集『第五集』を読ませていただいて勉強会をしました。特に深く考えさせられたところは

大體、おかげは日々夜々、いつもいただきどおしにいただいています。

寒中一斉信行…P1～2 甘木親教会年頭参拝…P3 連合会定期総会…P4  
少年少女会鏡開き…P6 矢野政美大人遺稿…P6～7 教会行事…P8

「自分があるということがおかげであって、この自分というものに代えられるものがありましょか。」九十四(六)

という中の「自分がある」ということを、私は、ずっと若いときはどれほども感じておらず、いわば「あたりまえ」でしかなかったのです。今、わずかに感ずることができるようです。

その点、安武松太郎初代親先生は、心の眼を開かれて深くつぶさに感じておられ、命をお与えになられた親神様から見られれば、それほど親神の恵みを深く感じ尊く有難く思ってくれるか、恵みがいのある氏子じゃ」当然思召されるだろうと思えるのです。

また、「一般的には、誰もが自分中心な願望を持って生きており、与え主「作り主」といえる「親神様」ということに心の眼を向けることはほとんどありません。

「自分がある」というおかげを蒙らせていただいていることを静かに見つめ直して行きたいものです。

☆



信行期間半ばの十日間ほどは、宮崎県連合会で昨年開かれた研修会で、武部眞子先生（香戸園教会）の「喜びの種まき」という講題の九十分ほどの講話を、毎日十数分ずつ聴いては勉強会をさせていただきました。信行期間の写真は居眠りをしてい

るのではありません、CDラジカセから聴こえてくるお話を傾けています。です…。

この講話では、武部先生の娘さん

が生後まもなく知的成長に障害を引き起こす状態を克服するための涙ぐましい取り組みを通し、子どもの成長は「あたりまえ」ではなく「ありがたい」ことであったことに心の眼を開かれたことをはじめ、お母様が倒れられて心肺停止から蘇生そして介護に当たられ亡くなられ、続いてご主人（教会長先生）が半身不随

から全身麻痺となられ介護に当たられながら御用に当たられる中で、教主金光様から「心配ができることにお礼を申しなさい」というお言葉を支えに、お礼を申すことに軸足を置いた信心に努められ、人の考えでは及びもつかない数々の有難いお繰り合わせを頂かれ「苦勞が実にならないことが一つもなかった」と言える、まさに「喜びの種まき」に努める尊いドラマチックな信心のお話しでした。

お話しをお聞きになられた方は、貸し出しCDを教会に準備しています。

☆

最後の十日ほどは、前教会長 矢野政美大人の講話を毎日十数分ずつ聴いて勉強会をする予定です。

矢野政美大人の講話を聴かせていただき、霊様の願いをシッカリと見つめ、頂き直して、十五年祭を迎えさせていただきます。

# 甘木親教会 年頭参拝

一月三日、甘木親教会に年頭参拝  
させて頂きました。

加治木教会を七時半に出発し、高  
速道路を走ること約三時間、甘木親  
教会に到着しました。

新年最初の月例祭が仕えられた後、  
信奉者総会が始まり、甘木親教会の  
信者さん方をはじめ出社教会の先生  
方のお話を聴かせていただきました。

甘木親教会の信者さん方の感話発  
表を聴かせていただきますと、皆さ  
ん誰もが、今年十月二十五日（土）

二十六日（日）に仕えられる甘木親  
教会の布教百十年大祭奉迎について  
のお話して、すでに勢をそろえた取  
り組みが始まっており、皆で邁進し  
てあることを感じました。

お広前には、次の通りの大きな額  
が掲げられていました。記念大祭に  
向け心して取り組ませていただきま  
しょう。

百十年奉迎の願い

甘木布教百十年を迎え、

ご先代の信心を求め、

入信の原点にたちかえり、

信心復興を願い、

次の世代に伝えよう

実践目標

一、私の願いを

持たせていただく

一、あらたまりの

稽古をさせていただこう

一、心を神様に向け、

御礼とよろこびの

心を現そう

親先生の、初代親先生のみ教えと、

親神様の思召しに添う信心につい  
てのご教話後、新年の福引もありま  
した。今年一年の指針となる、初代

親先生のみ歌の葉とステキな景品を  
頂きました。

境内の、記念大祭までの日数を示  
す掲示には「295日」と示されて

ありました。

出社（でやしる）教会の信奉者で  
あります私どもも、共々に、本に報  
いる信心を進め、信心成長・向上の  
おかげを蒙らせていただきたいもの  
です。



# 鹿児島地方教会連合会 定期総会 開催される

一月二十六日(日)鹿児島教会で、  
教会連合会の定期総会が開催されま  
した。

連合会内の十七の各教会から、教  
師・信徒の代表三十五名が出席し、  
御祈念・開会行事の後、現在ご本部  
で御用されてある大口教会長 安武  
秀信先生より 教団の現況と動向に  
ついて《のお話を聞かせていただき、  
昨年度の決算と活動の報告、新年度  
の予算と活動の説明がなされ、それ  
ぞれ審議と承認がなされました。

今年 教  
祖様御生誕  
二百年「のお  
年柄であり、  
連合会では  
九月七日  
(日)に加音  
ホール会議  
室で 教祖様  
御生誕二百  
年記念信奉  
者集会」を計



画しており、この  
お年柄にいっそう  
信心が進み親神  
様・教祖様がお喜  
びになられるよう  
取り組ませていた  
だきましよう」ということなどが話  
題となっていました。

午後からは、信徒部は田中康裕さ  
ん(西鹿児島教  
会)、教師部は嶋  
田喜代子先生(出  
水教会)によりそ  
れぞれ二十分ず  
つ感話発表があ  
りました。



この後、質疑応答があり、今後の  
連合会活動や信心の継承について、  
盛んに意見が出されました。

## 連合会定期総会

に参加させていただいて

午前中、定期総会審議が順調に進  
められました。

午後には研修会で、先生一名、信徒  
一名による発表がありました。



信徒は西鹿児  
島教会の田中康  
裕さん(二十七  
才)でした。

熱心に信心さ  
れておられたお  
父様が急逝された後に、自然と信心  
に向かうことができたそうです。  
お父様がお元気なころは、信心の  
話や勧められることなどはなかった  
のですが、亡くなられてからはお  
父様の夢をよく見られると話してあ  
りました。

また、延岡教会で熱心な信心をさ  
れていた お母様方のお祖母さん  
やお母様のお祈りがあったのではな  
いかと思わせていただきました。

今、求められるのは 原点に立  
ち返る《教祖様の生きられ方を見つ  
め直すことが、親神様が助かられる  
のではないのでしょうか》と結ばれま  
した。

また、私の隣の席に八十年代、九十  
代の方が参加されていましたが、し  
きりに「すごい！」と感心されて、参  
加して話が聞けてほんとうに良かつ  
た」と喜ばれてありました。

(永原久子)

# 婦人会例会

開かれる

二十数年ぶりに婦人(女性)の信心勉強会を再開しましたが、参加者の中に、以前の婦人会がどのような内容で開かれてあったかを知る人がありませんでした。以前の婦人会の方が高齢になられ、知っている方がおられないのです。

子どもの頃、母が婦人会に出席していたのに「一緒に付いて行っていましたが、どのようなお話があったのかはわかりません」また「その頃は、仕事に忙しくて参拝や出席ができませんでした」という方ばかりでした。

そのため、甘木親教会の婦人会のみ歌をもとに勉強会が始まりました。甘木親教会の婦人会のみ歌は次のようなもので、十数首のうちの始めの三首は次の通りです。

うみましし神の心を

たつねてそ

女の道の菜とやせむ



これから、家の家老「あるいは家の要」と教えられています女性の信心勉強会を開いて、真の助かり、信心の成長・継承などについて勉強して行く予定です。

生神の

いきた教えに生かさるる

身の仕合せを忘るるな夢

わが道の本と

末とがひとつにて

ともに栄行く

天地(あめつち)の道

## 加治木教会 バンド練習会

〈毎週金曜 午後7時半より〉

間もなく再開します。

そのときは、連絡致します。

来年十月二十六日(日)の、甘木親教会布教百年記念大祭バンド演奏に参加させて頂いたとき、今日信心のおかげを蒙らせていただいている御礼を申させていたきたいと思います。

## あしあと

加治木教会行事記録

1月

- 1(祝) ●元日祭 正午
- 3(金) 甘木親教会年頭参拝
- 9(木) 斎掃御用 10時
- 10(金) ●生神金光 大神様 月例祭 10時半
- 併せて●成人感謝祭
- 12(日) 新田原教会 告別式
- 16(木) 婦人会 13時半
- 18(土) 少年少女会・鏡開き 10時半
- 若婦人会 13時半
- 19(日) 西鹿兒島教会 報徳祭
- 21(火) 斎掃御用 10時半
- 22(水) ●月例祭・共励会 13時半
- 23(木) 宮之城教会 告別式
- 26(日) 家族朝参拝日 6時
- 連合会定期総会(鹿児島) 10時
- 31(金) 斎掃御用 10時半

### 矢野政美大人 遺稿

#### 新鮮なる心

かつて三代金光様が、七十年の長きご神勤の中にも 何十年つとめましても、日々が新 さら) でございます」と、おおせになりましたが、毎日毎日を新たなこととして、ご苦労下さったことと拝察させていただきました。

すべて生物には絶えず新しいことが要求されると思います。天地万物は日に日に新しく生気に生かされておるのであります。樹木にいたしましても昨日と今日は、もう変わっております。太陽に向かって生長に生長をし続けております。私どもの体内の血液も、酸素を吸って浄化、美化されて、いつも新しい血液が体内をめぐっております。

このように考えさせていただきますと、世の中すべての生物がいつも新たにしておりますのに、私どもの心や、信心が新鮮さを欠いてまいりますと、ついに心の老朽化をきたすことになってまいります。

## 少年少女会

### 鏡開き

一月十八日 土) お正月恒例の少年少女会行事 「鏡開き」が開かれました。

今年は、神様のお下がりのお鏡餅を焼いてぜんざいに入れる作業と、ピザにトッピングをして焼く作業をして楽しみました。



御祈念、開会儀礼の後に「もち米や小麦粉は天地のお恵みです」というお話を十分ほど聴かせていただき、楽しい作業に移りました。

鏡餅はストーブで焼き、ピザはオーブントースターやフライパンやダッチオーブンを使って焼きました。

ピザ生地は教会でパン生地を発酵させて膨らませる準備をしていくのださり、生地を延ばして広げ、チーズやサラミやトマトであざやかなトッピングをして焼きました。

いろいろな天地のお恵みが、準備や調理の努力と工夫で、あざやかな美味しいものにできあがることは素晴らしいことでしたね。

その  
ところを

甘木のご  
先代(甘木  
親教会初  
代 安武松



太郎師のことは信心とはいかなる  
ことをいうならむ はじめ忘れぬ心  
ならずや」とお詠みになっておられ  
るのではないかと思います。

ご先代は、かねてのご理解にも 教  
会参拝は、何度お参りしても初めて  
お参りしたという気持ち、何回同じ  
話しを承っても、初めて聞かせてい  
ただいたという気持ちが大切」とお  
っしゃってありましたが、味わうべ  
きお言葉と思わせていただきます。

日が暮れたら大晦日、夜が明け  
たら元日という心で、たえず自ら  
を省み、お礼お詫び、さらにお願  
いを申し上げつつ、今日一日の新しい  
お生命、今日一日の新たな信心生活、  
としておかげ頂きたいと思えます。

『いっしん』第六十九号

昭和四十七年六月

訃報

前新田原教会長 鬼塚正道先生が、  
一月十日、満八十六  
歳でご帰幽になら  
れました。

宮之城教会長 松井茂喜先生が、  
一月二十一日、満八十  
八歳でご帰幽にな  
られました。



両先生とも、矢野政美大人と同じ  
く、甘木親教会の教徒の家に生まれ  
育たれ、戦後甘木親教会にご修行に  
上がられ、お道の御用におかげを蒙  
られ生涯をお道の御用におささげに  
なられました。

さらに皆、荒地布教のご苦勞を越  
えて、教会の礎を築かれました。そ  
のため記念祭にはお付き合いをされ、  
加治木教会の記念祭にはいつもご参  
拝、ご参列下さってありました。  
靈様のご功績を仰ぎ、靈様のご安  
心とお道立て、益々の教会の弥栄を  
お祈り申し上げます。

ご霊神様のおまじり

二月 (敬称等略)

- 桐野ケサノ之霊神(1日)昭和9年
- 桐野秋子之霊神(3日)昭和7年
- 中村照子之霊神(4日)平成15年
- 吉屋安光之霊神(8日)平成1年
- 川畑正徳之霊神(12日)昭和23年
- 矢野政美之霊神(12日)平成11年
- 小屋敷慶二之霊神(14日)平成4年
- 川畑助太郎之霊神(18日)昭和23年
- 最勝寺剛藏之霊神(18日)昭和47年
- 平島タキノ之霊神(18日)昭和52年
- 福山一間之霊神(20日)平成16年
- 川畑幸正之霊神(21日)昭和21年
- 中村正義之霊神(21日)昭和21年
- 野口ミヤノ之霊神(22日)昭和60年
- 永原初男之霊神(22日)平成22年
- 平島房代之霊神(24日)昭和6年
- 中島武夫之霊神(24日)昭和50年
- 桐野ケイ之霊神(25日)昭和2年
- 前田京子之霊神(25日)平成14年
- 山下ヒサエ之霊神(28日)平成2年
- 宮内ミツル之霊神(28日)平成13年

「先祖の」霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。  
立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんして  
お礼を申し上げます。  
教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の  
奉てんを準備しています。

二月九日(日) 午前十一時より

加治木教会 (前日御用奉仕)

報徳祭 に併せて

矢野政美大人十五年祭

甘木親教会長  
安武道義親先生

※二祭典・教話、後直会。

二月十七日(月)

甘木親教会

出発 午前七時頃  
帰着 午後六時頃

報徳祭 参拝

報徳祭

二月二十三日(日)

多良木教会 報徳祭 午前十一時より

二月十六日(日)

上荒田教会 報徳祭 午前十一時より

三月八日(土)・九日(日)

午後二時より 午前十時より

※九日は主に初心者

申込締切 三月一日

典楽会

鹿兒島教会にて  
会費 昼食費など 一〇〇〇円

琴・龍笛・笙・箏・太鼓

教会行事

2月

1(土) ●報徳月例祭・節分祭 10時半

4(火) 甘木親教会初代立日御祈念 10時

〃 琴稽古

8(土) 御用奉仕

9(日) ●加治木教会 報徳祭 11時

〃 矢野政美大人十五年祭

10(月) ●<sup>生神金光</sup>大神様 月例祭 10時半

12(水) 矢野政美大人立日 10時半

〃 婦人会 10時

15(土) 若婦人会 13時半

16(日) 上荒田教会 報徳祭

17(月) 甘木親教会報徳祭 11時

18(火) 甘木親教会「同釜会」

21(金) 斎掃御用 10時半

22(土) ●月例祭・共励会 13時半

23(日) 多良木教会 報徳祭

28(金) 斎掃御用 10時半

一月十一日～二月七日

寒中一斉修行

ご祈念・研修 午前五時二十分・午前十時  
ご祈念のみ 午後四時・午後九時

3月

1(土) ●報徳月例祭 10時半

8(土) ～ 9(日)

典楽講習会 (於・鹿兒島教会)

9(日) 斎掃御用 10時

10(月) ●月例祭 10時半

13(木) 婦人会 10時

〃 矢野クラ刀自立日

15(土) 若婦人会 13時半

20(木) 斎掃御用 10時

21(祝) ●春季霊祭 10時半

22(土) ●月例祭・共励会 13時半

23(日) 朝参拝日

26(水) ～ 28(金)

甘木親教会「教会子弟の集い」

29(土) ～ 31(月)

甘木親教会 少年少女会「交歓会」

29(土) ～ 30(日)

御本部御大祭 参拝

30(日) 斎掃御用 10時